

# 2020年度 法人事業方針

社会福祉法人露の会 法人本部

## 1. 各施設、事業所の指導・支援に力を入れる。

### 1) ふきのとう

- ① 障害福祉事業収入が利用者定員の決め方でどれだけ違うかなど精査して今後の定員をどうすべきか方向性を出す。
- ② 希望する利用者・家族の意見も参考に聴きながら、収支等全て試算してどんなG.H.にすべきか詳細な検討を進めてもらいます。

### 2) ころぼっくる

放課後デイ、日中、ショートそれぞれの現状と課題を分析し、可能な事業等含めて赤字解消の具体的な計画を作る。

### 3) ひのき工房

- ① 就労支援事業の収入増のため、
  - ・ リサイクル事業の有料回収の検討を行う。
  - ・ おたすけ隊の定着方策
  - ・ 産廃事業の新規開拓等指導育成

- ② 障害福祉サービス事業所の新設検討

### 4) とぶきふねん

受託業務の遂行、安全管理、障がい者支援に責任の取れる管理能力を付け受託業務を増やす。

### 5) ぼぷら八王子

- ① メンバー支援体制の確立と採用定着のための施設長業務ができるようにする。
- ② そのためにも工場の製造及び生産管理を統括する責任者の育成。

## 2. 事業検討会と施設長会の充実、強化

5つの施設・事業所の施設長、代理人による本部主催の事業検討会と施設長会を毎月実施しているが、当面する日常課題に時間を取られ法人や施設の基本的な課題の検討が十分に深められない傾向があるので、今年度は、各施設それぞれのメインの課題を提起し、解決の方向性を明確にしながら改革を実現していくことに主眼を置きます。

## 3. 職員の労働条件の改善

- ① 毎年2%以上の賃金改善をしていますが、まだまだです。今年も改善するために何をすべきか各施設に対して具体的に示していきます。
- ② 国の“働き方改革”については露の会としては大きな課題は終わりましたが、正規・有期フルタイム、有期短時間、障がいのある職員、嘱託職員、それぞれの職務内容、職務権限、勤務条件等が比較できる一覧表を作成します。

## 4. 職員研修

- 1) 外部講師に来ていただく研修会は好評ですし、今年も続けたいと思います。

又、外部研修会にもテーマを選びながら随時参加してもらいます。

- 2) 前年度の「チームOJT」研修に基づき今年は各施設でいくつかのチームを作り、その中から1チームずつ発表してもらいます。
- 3) 施設長、主任、リーダーの相互交流会と職務遂行能力を付けてもらうための研修会を実施します。

## 5. 施設環境整備

日常的に環境整備を実施しているのは、まだ1施設だけです。各施設で環境委員が中心になって最低でも年間1つのテーマを決め、他のスタッフの協力を得て実施するよう指導します。

## 6. 地域貢献

- 1) 昨年は台風、集中豪雨により全国各地で大きな被害を受け、無傷だった私達は御見舞の寄附を募り多くの皆さんの協力で、138,236円集まりました。
- 2) 各施設で、備蓄している非常時用の水や食料等の物資を近隣で必要になった時、町会等を通じて贈るなど話し合いをしてもらいたいと思います。
- 3) 子ども食堂は、事務局の一員として続けますが、各施設で地域のサークルなどから施設の利用希望があったら積極的に協力しましょう。

## 7. 法人設立20周年に向けて

来年(2021年)で、20周年になりますので、何らかの記念行事を行うべく各施設で担当者を決めて準備を行います。

## 8. 施設運営に重要な各種助成金の申請を確実に行います。

キャリアアップ(正規、無期転換助成金)、報奨金、障害者雇用安定助成金  
特定求職者開発助成金、東京都中小企業障害者雇用支援助成金、障害者雇用支援助成金等

## 9. 各施設共通の会計業務の効率化と精度向上にむけて

- ① 福社会計独特の会計処理マニュアルの会計担当者への配布と指導
- ② ぽぷら八王子の施設会計の指導育成
- ③ 八王子市指導監査指摘事項の確実な実施

## 10. 蕨の会、施設ホームページ(hp)によるタイムリーな情報発信

- ① 職員の採用情報や後援会活動の情報発信
- ② 蕨の会便りの作成配布とhp掲載によるhp来訪者への活動アピール
- ③ 法人の活動や会計の透明性についての情報発信

## 11. 職員や利用者のパソコンの増加に伴い、情報セキュリティの強化を進めます。

特に、マイナンバー等人事データを扱う本部や利用者の個人情報扱うひのき工房の間のインターネット環境を一元管理していきます。他施設についても、啓発活動を進めていきます。